

## 令和2年度 社会福祉法人 大阪市旭区社会福祉協議会事業報告

人口減少・少子高齢化の進展や雇用状況の変化、地域社会の変化等により人と人とのつながりが弱まってきているなか、8050問題やダブルケアなど、世帯が抱える課題が複雑化・多様化し、複合的な支援を必要とする状況がみられ、対応が困難なケースがふえてきています。そのため、人々が様々な課題を抱えながらもそれぞれの地域で自分らしく暮らしていけるよう、地域住民等が支え合い、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていくことのできる地域共生社会の実現が求められています。

特に、この一年間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、区内の行事や取組みについて中止や延期を余儀なくされ、外出自粛等の要請もあるなか、人と人がふれあい、つながる機会が少なくなったことにより、高齢者の心身の機能低下や支援の必要な人が孤立しがちになることなどの課題が見られました。

本会においても、計画をしていた取組みの多くが中止や延期となるなか、地域包括支援センターや見守り相談室他、各部署で相談や安否確認を行いながら支援し、コロナ禍においてできることを考え、取組みを行ってまいりました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が減少したり、失業となり日常生活の維持が困難となっている世帯に対する貸付事業については、終わりの見えない状況のなか、申請を希望される方が絶えず、新型コロナウイルス感染症特例の緊急小口資金・総合支援資金・総合支援資金延長貸付・総合支援資金再貸付等、最大200万円の貸付申請について、相談や受付対応を行いました。

外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業では、各地域に地域活動再開に向けて活用いただけるよう衛生物品等の配付を行い、安否確認のための配食、ちらしやタオル・ドリンクの配付等の支援を行いました。

また、飲食を伴う地域活動の再開に向けて、その一助となるようにマニュアルを作成し、その周知と感染予防策、再開に向けた取組みについて理解を深めていただくとともに、地域間の情報共有のため、「小地域活動者大情報交換会」を開催しました。

生活支援体制整備事業では、毎日の暮らしに「ちょい足し」することで手軽に健康づくりができるよう、豆知識を紹介する「あさひあったか通信増刊号」の発行をはじめ、男性の活動の場や居場所づくりとしての「男のカフェ火の鳥」、地域での居場所づくりや担い手としての取組みである「コミュニケーション麻雀」等を実施しました。また、地域包括支援センターや見守り相談室とともに、地域の会館まで行くことができず、集いの場に参加できない高齢者を対象として、少人数で身近な場所に集まり、食事をしたり、お茶を飲みながら、交流する場づくりとして、「おとなのランチ会」「お寺 de 喫茶」を実施しました。

「地域における見守り支援について考える会」等での意見を反映し、内容を再検討していた「お守りカード」「救急情報シート」については、体調不良、事故などの緊急事

態に備えて地域で安心して暮らしていただくためのツールとなるよう、普及啓発を行いました。

見守り相談室においては、地域の見守り等につなげるため、各地域振興町会や各地区民生委員児童委員協議会への要援護者名簿の提供、孤立世帯等への専門的対応、また高齢者の行方不明時の早期発見の取組みも引き続き進めてきました。

区社協においては、区医師会やNPO法人、ボランティア等とともに、認知症カフェやマタニティカフェを実施していますが、こどもたちが中心となって運営する「こどもカフェ」の実施に向け、令和3年2月に小学4・5年生を対象としたフロアスタッフボランティア養成講座を開催し、世代間交流の場となるよう、「こどもカフェキンダーホープ」を3月にプレオープンしました。

ボランティア・市民活動の推進としては、ボランティアグループ情報誌をリニューアルし、「福祉ボランティア活動応援資金」による活動助成や様々なアドバイスを行い、区内の大学への福祉教育を開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、区社協主催事業や地域活動等が中止・延期となるなど、通常の実施が難しい状況ではありましたが、電話や手紙等による安否確認や、感染予防のための情報提供を行うなど、つながりを絶やさない取組みを心がけ実施しました。

## 1 地域福祉活動事業

事業名	開催月	開催回数	開催場所	内容
理事会	6月(決議の省略) 11・3月	3回	旭区在宅 サービスセ ンター	6・7月 事業報告・決算(案)他 11・12月 補正予算(案)他 3月 事業計画・予算(案)他
評議員会	7月・12・3月 (決議の省略)	3回		
しょうぶ大学	10月～11月	6回	旭区在宅 サービスセ ンター 旭区民セン ター他	・手打ちうどんづくり ・包丁研ぎ講座 ・工場見学 ・旭区まち歩き、他 延べ参加者数 61人
しょうぶ大学 OB会	6月～3月	25回	旭区在宅 サービスセ ンター 他	施設見学・勉強会・定例会議・ボラン ティア活動 延べ参加者数 286人
(ママ&パパ)ゆるり マタニティカフェ	6月～3月	9回	町家カフェ ゆるり	「子育てはおなかの中から始まっています」、新しい命の誕生を迎えるママとパパを、小児科医と先輩ママやパパ、地域のみなさんが、お茶を楽しみながら気軽に交流、情報交換できる場として開催 延べ参加者数 203人 町家クラブゆるり、旭区子ども・子育てプラザと共催
こどもカフェ	2月～3月	3回	大阪旭こども 病院別館 キンダー ホープ	2月 ・「プロから学ぶ!フロアスタッ フボランティア養成講座」 3月 ・フロアスタッフマナー講座、ポ スター・壁面装飾等作成 ・こどもカフェプレオープン 町家クラブゆるりと共催、大阪旭こども 病院協力
共同募金活動協力	10月	2回	千林商店街 周辺	街頭募金活動 参加者数 16人
旭区社会福祉施設 連絡会	6月・7月・9月	3回	旭区在宅 サービスセ ンター 他	役員会・総会(書面開催)、敬老月間の 取組み、情報提供等
あさひ子育て安心 ネットワーク会議	10月 2月	2回	旭区役所	10月 区における児童虐待対応マニユ アルの改訂について、令和2年 度保健・子育て支援担当の新事 業について 2月 あさひ子育て包括支援システム 構築に向けた、新たな取組みに ついて
子育てサロン 連絡会	7月・10月 12月・3月	4回	旭区在宅 サービスセ ンター 旭区役所	定例会議

事業名	開催月	開催回数	開催場所	内容
あさひの輪	6月・9月 12月・3月	4回	旭区在宅 サービスセ ンター	定例会議及び情報交換
こども食堂 ネットワーク会議	8月・10月 12月・2月	4回	旭区役所	定例会議及び情報交換
里親シンポジウム 実行委員会	10月・12月 1月・3月	4回	旭区保健福 祉センター 別館	里親シンポジウムの開催についての検討
広報紙発行	6月・9月 12月・3月	4回	—	69号～72号旭区社会福祉協議会だより発行（区役所広報紙挟み込み） 各42,000部発行

※「子育てわいわい広場 in ASAHI」、「旭区民まつり」、「子育てトーク」は、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

## 2 ボランティア・市民活動センター事業

### 1 ボランティア・市民活動センターの運営

	事業名称	備考（内容・参加人数等）
1	旭区ボランティア・市民活動センター運営委員会	日程：3月4日（木） 午前10時30分～正午 出席者：9人 運営委員の選任について、令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画について他

### 2 ボランティア養成

	事業名称	実施内容・参加人数
1	初級手話講習会	日程：10月3日（土）～2月20日（土） までの毎週土曜日 （1月2日を除く。全20回） 参加者：16人 延：156人

### 3 ボランティア活動への支援

	事業名称	実施内容・延べ参加人数
1	ボランティアグループ活動の推進	ボランティアグループの活動支援として、各グループの定例会などに随時出席
2	ボランティア・市民活動センターの活用	活動の場としてボランティアルーム、多目的室の貸し出し、メールボックスの設置
3	機材の貸し出し、活用	コピー機、輪転機、ラミネーター等の機器、文具品の貸し出し
4	あさひボランティアグループ情報誌の発行	登録ボランティアグループを紹介した情報誌を令和3年3月に発行

### 4 啓発・広報

	事業名称	実施内容・啓発先
1	旭区社会福祉協議会だより「あさひ」の発行	年4回発行 区広報紙に挟み込み （6月・9月・12月・3月） 登録ボランティア（個人・グループ）へ送付
2	「旭区ボランティア・市民活動センターだより」の発行	年3回発行 登録ボランティア（個人・グループ）へ送付 関係機関での窓口設置・区社協ホームページ上
3	旭区社協ホームページ「ボランティア・市民活動センター」の管理・運営	区社協ホームページ上のボランティア・市民活動センターの紹介、登録ボランティアグループ及び市民活動グループの紹介一覧の更新、ボランティア活動募集ページの管理・運営

## 5 福祉教育

	実施場所	対象者	参加者数	実施内容・使用教材
1	大阪工業大学	大学3年生	16人	車いす・アイマスク体験・高齢者疑似体験・認知症サポーター養成講座 ○開催日：令和2年9月5日
2	大阪市立今市中学校	中学1年生	134人	車いす体験学習 ○開催日：令和3年2月17日

### 3 生活支援体制整備事業

少子高齢化が進む中、生活支援コーディネーターは、地域の実情を踏まえてニーズを掘り起こし、そのニーズに合った資源の把握に努め、必要な生活支援サービスや、高齢者の社会参加を促進することが介護予防につながるということから、居場所づくりや活動の場の開発などの支援に取り組みました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともない、多くの地域活動が休止せざるを得ない状況にあるなか、活動の再開・継続に向けた支援やそういった状況下でも人とのつながりを絶やさない地域づくりに取り組みました。

	事業名	開催月	開催場所	内容
①ニーズと地域資源の把握・ネットワーク化	協議体（本会議）の開催	8月 3月	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援体制整備事業計画および取り組み内容の説明</li> <li>旭区内の高齢者に関する課題共有、意見集約</li> </ul>
	協議体（ワーキング）の開催	4月～3月	旭区在宅サービスセンター 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>高殿地域1～2丁目の社会資源の創出に向けた検討会議（10回）</li> <li>高殿南地域におけるマッピングに向けた検討会議（2回）</li> <li>あさひあったか通信の作成及び相談窓口の周知活動に関する検討会議（3回）</li> <li>高殿南地域における新たな居場所づくりの創出に向けた検討会議（5回）</li> <li>高殿7丁目での高齢者の集いの場の創出に向けた検討会議（3回）</li> <li>自立支援型ケアマネジメント検討会議から抽出した課題に対する資源開発会議（2回）</li> </ul>
	情報収集	4月～3月	各地域 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域での取り組みでの聞き取り</li> <li>地域ケア会議等への出席</li> </ul>
②地域資源・サービス開発	生活支援サービスの創出	3月	旭区在宅サービスセンター	お買い物付き添い（時々、お手伝い）ボランティア講座の開催
	既存の場所を活用した地域交流の場づくり	10月～3月	各地域 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>おとなのランチ会の開催（4回）</li> <li>お寺de喫茶の開催（4回）</li> </ul>
	小地域活動者に対する研修の実施	11月	旭区民センター	地域活動におけるコロナ対策の実施や、「新しい生活様式」に応じた開催に向け活動の再開や継続への足がかりとなるよう、必要な情報提供および活動者間の情報交換の場として、実施

	事業名	開催月	開催場所	内容
	各地域への活動再開支援	随時	各地域 他	コロナの影響で休止している地域活動やボランティア活動の再開・継続に向け、必要な助言や情報提供を実施
③活動の場の発掘・開発	男のカフェ「火の鳥」	6月～3月	旭区在宅サービスセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月第2金曜日に男のカフェ「火の鳥」を開催（3回）</li> <li>男のカフェ会議の開催（7回）</li> </ul>
	コミュニケーション麻雀体験会	7月～3月	旭区在宅サービスセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月第2金曜日、第4月曜日にコミュニケーション麻雀体験会を開催（18回）</li> </ul>
④サービス実施情報の提供・周知	地域活動の再開に向けた関連情報の提供	10月	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ふれあい喫茶チェックポイント」冊子の作成、配付</li> </ul>
	広報紙発行	6月 9月	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>あさひあったか通信（増刊号）の発行</li> </ul>



## 4 地域包括支援センター事業

当センターは、大宮地域・高殿地域・高殿南地域を担当しており、出張介護相談会や見守り巡回等を行い地域関係者、区内関係機関との連携を図りながら、より細やかな支援に努めているほか、圏域内の認知症カフェでの相談や運営支援を行っています。

認知症予防の取組みとして、「もの忘れの気になる人の会(高殿地域)」「もの忘れの気になる人の会 in 大宮」を定例開催しており、各地域における認知症予防の取組みに向けた人材育成および新たな社会資源の開発として、「もの忘れ予防ゲームリーダー養成講座」を開催しました。

また、本人や家族が精神疾患等のため、地域から孤立しがちであることを地域課題として抽出し、さらに介護支援専門員からも精神疾患等の方について理解を深めるための研修開催を求める声があったことから、介護支援専門員を対象とした研修会を実施しました。

### 令和2年度 事業実績報告

総合相談件数		令和2年度累計			
相談 件 数	訪問・出張による相談	1, 079件			
	電話による相談	4, 925件			
	来所による相談	1, 022件			
	その他	61件			
	延べ相談件数	7, 087件			
	相談実人員	805人			
	訪問による相談実人員	846人			
相談 内 訳	家庭・家族問題	134件	保健・医療サービスに関すること	368件	
	経済・生活問題	2, 114件	虐待に関すること	390件	
	介護サービスに関すること	2, 403件	成年後見制度の活用に関すること	229件	
	介護予防サービスに関すること	994件	生きがいつくり	273件	
	介護予防事業に関すること	145件	その他	16件	
	福祉サービスに関すること	21件			
包活的 継続的 ケアマネジ メント	介護支援専門員個別相談件数	1, 412件			
	居宅介護支援事業者連絡会の開催・参加	主催6回 共催4回			
	介護支援専門員への研修会	主催 1回			
会議 開催・ 参加 状況	地域ケア会議開催（高齢者個別支援）	主催 17回			
	地域ケア会議開催（自立支援型検討会議）	主催 9回			
	ランチ連絡会	主催 7回			
	その他ネットワーク構築のための会議	主催28回	共催28回	参加48回	
	地域との関係づくり	主催 0回	共催13回	参加 0回	

## 5 介護予防・日常生活支援総合事業

要支援者自身の能力を最大限生かしつつ、利用者の状態やニーズに応じて適切なサービスが受けられるよう、介護予防ケアプラン作成にかかる一連の過程を通じて、包括的かつ効果的に実施されるよう援助を行い、事業対象者が要介護・要支援状態となることを予防しています。

給付管理総数(延件数)	一部委託事業所	旭区地域包括支援センター
6,575件	6,523件	52件

## 6 在宅福祉サービス事業

### (1) 通所介護事業(デイサービス)

介護保険の要介護認定、また要支援認定を受けられた方を対象として、送迎、入浴、食事、各種レクリエーション、生活相談などのサービスを提供し、ふれあいを大切に楽しく過ごしていただけるよう、個別のプランに基づく援助を心がけました。ご家族に対しても、精神的・身体的に介護負担の軽減ができるよう支援しました。

コロナウイルス感染症拡大防止に向け、検温・マスク着用・アルコール消毒・換気・アクリル板や除菌液噴霧装置の設置及び状況に応じて利用時間を短縮するなどの対応を行いました。

平成12年度からデイサービスセンターを開所し、事業展開してまいりましたが、利用者が徐々に減少傾向となり、令和3年3月末で休止することになりました。

契約者数(令和3年3月末現在)	29人
開設日数	234日
延利用者数	1,883人
要支援	531人
要介護1	240人
要介護2	618人
要介護3	203人
要介護4	291人
要介護5	0人
1日の平均利用者数	8人

### (2) 居宅介護支援事業

利用者及びそのご家族が、住み慣れた地域で自分らしく過ごすために、介護に関する相談に応じ、利用者の生活の質の向上や家族の介護負担の解消等もふまえ、介護保険サービスやその他のサービス利用に必要なケアプランを作成を通じて、利用者のご家族の支援をしました。

ケアプラン作成件数 (令和2年3月末現在)	要支援	186件
	要介護	300件

(3) 大阪市介護予防教室(なにわ元気塾)事業

65歳以上の方が、毎月1回教室に参加し、地域の人と交流の機会をもつことで、交友関係が広がり、認知機能や生活全般の活性化を図り、自立した活動的な生活を送ることができるところを目的に実施しました。生活機能の向上や認知症予防等の観点から、栄養、口腔衛生の話や体操、手芸、音楽などレクリエーション等を行い、楽しみながら閉じこもり防止につながる教室を通年開催しました。

開催場所(各地域の老人憩の家など)	9か所
実施回数	78回
参加延人数	1,042人
1回の平均参加人数	13.3人

(4) あんしんさぽーと事業

認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方の権利擁護を目的として、福祉サービスの利用援助、金銭管理サービスや証書等の預かりサービスを行い、地域で自立した生活が送れるよう日常生活を支援しました。

① 相談延件数

認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計
2,164件	1,876件	2,468件	180件	6,688件

② 利用人数

認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計
41人	34人	34人	2人	111人

③ 待機人数

認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計
8人	2人	5人	0人	15人

## 7 見守り支援ネットワーク強化事業

行政が保有する要援護者情報により、地域におけるきめ細やかな見守りネットワークの実現をめざすことを目的として、次の3つの機能をもとに見守り相談室として事業を実施しました。

### (機能1)

要援護者名簿に係わる同意確認、名簿整理

	発送数	回答数	訪問件数
第1回(令和2年7月)	556通	1,051通 (内同意数651通)	688件
第2回(令和3年1月)	447通		

名簿提供件数

提供月	名簿提供件数
令和2年7月	1,842件

※ 地域での見守りを希望される要援護者の方の名簿を同意確認のうえ、各連合振興町会、各地区民生委員児童委員協議会に提供

### (機能2)

①地域社会とのつながりを持つことが困難で、社会から孤立する危険性の高い要援護者世帯、セルフネグレクト等の専門相談及び見守り支援

相談形態	
訪問による相談	848件
電話による相談	1,443件
来所による相談	280件
その他	534件
延べ相談件数	3,105件

相談・支援内容					
経済・生活上の問題	539件	就労	8件	ごみ屋敷	5件
福祉	335件	いきがづくり	129件	その他	1,553件
保健・医療	76件	虐待	0件		
介護	70件	家族・家庭問題	11件		
子育て	0件	見守り訪問	878件	計	3,604件

②出張見守り相談室（みまもり庵）

開催回数	21回
------	-----

〔相談対応件数〕

内 容	件数	内 容	件数
安否確認	21件	地域団体との連携	5件
助言・指導	8件	他機関を紹介	7件
情報提供	13件	介護保険申請	1件

（機能3）

行方不明等の恐れのある認知症高齢者等のメール配信による早期発見、保護支援

① 協力者

	令和2年度（新規）	累 計
協定団体	0団体	41団体
協力者数	1件（人）	200件（人）

② 申請者

登録者数	50人
搜索依頼件数	9件

◎認知症高齢者等支援対象者情報提供制度

大阪府下の警察署から認知症又はその疑いのある高齢者等の保護・行方不明等事案について、管轄区域に該当する見守り相談室に必要な事項の情報提供があった場合、その情報をもとに、ご本人やご家族に本事業の事前登録手続きや徘徊認知症高齢者位置情報探索事業の説明を行い、その方のご意向に添った登録手続き等を進めます。今年度も地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等と連携し、早期治療による行動・心理症状の軽減、症状進行の緩和へと支援をつなげました。

警察からの情報提供案件	76件（延件数）
-------------	----------

◎旭区医師会ものわすれ出張相談&認知症カフェ

認知症の方とその家族を支える場として、医師会、地域包括支援センターと連携して、認知症カフェを開設しました。

圏域	認知症カフェ 開催回数	延参加者数 (ボランティア含む)
旭区西部	1回	7人
旭区東部	5回	84人
合 計	6回	91人

## 8 生活福祉資金事業

主な貸付対象者は、低所得者、障がい者または高齢者の世帯となっており、民生委員児童委員協議会や生活困窮者自立支援相談窓口（くらし相談窓口）、区役所等と連携を図りながら支援を行いました。

引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯に対する貸付として、新型コロナウイルス感染特例の緊急小口資金および総合支援資金（生活支援費・延長貸付・再貸付）の申請受付を行いました。

### <令和2年度生活福祉資金事業実績>

	延相談件数	種 別	貸付 件数	備 考	
生活福祉	333 件	福祉資金	31 件		
		内 訳	技能習得費	1 件	
			障がい者用自動車購入費	1 件	
			冠婚葬祭費	1 件	
			転宅費	1 件	
			その他日常生活費	11 件	エアコン・冷蔵庫・風呂・給湯器等
			緊急小口資金 ※	16 件	公的給付・初回給与等までのつなぎ
	121 件	教育支援資金	6 件	高校・大学等費用	
		内 訳	教育支援資金	4 件	※教育支援費と就学支援費の両方貸付
			教育支援費	1 件	
			就学支援費	1 件	
	93 件	総合支援資金	2 件	離職者に対する貸付	
		内 訳	生活再建費	0 件	
			住宅入居費	0 件	
			一時生活再建費	0 件	
	9 件	不動産担保型生活資金	0 件	住宅を担保にした貸付	
		内 訳	不動産担保型生活資金	0 件	
要保護世帯向け不動産担保型生活資金			0 件		
18 件	緊急小口資金	16 件			
	総合支援資金(生活支援費)	2 件			
臨時特例	0 件	臨時特例つなぎ資金	0 件		

<令和2年度新型コロナウイルス感染症特例実績>

○相談内訳

延電話件数	延来所件数	延関係機関等 対応件数	合計
6, 374 件	4, 128 件	2, 350 件	12, 852 件

○申請件数

緊急小口	総合支援	総合支援 (延長貸付)	総合支援 (再貸付)	合計
1, 682 件	1, 241 件	839 件	669 件	4, 431 件

## 9 あさひ学び舎事業

学業や進学が十分に用意されていない生活困窮世帯等の子どもが成長し、再び生活困窮に至るという「貧困の連鎖」断ち切るために、生活困窮世帯の中学生を対象に学習支援、生活指導や開発教育などを行い、高校進学による自立促進や中退防止支援として、学習支援、相談支援、体験を中心とした生活力開発支援などの事業を実施しました。

内 容	実 施 回 数	参加者延べ人数
学 習 支 援	82回	821人
食 育 事 業 (調理実習等)	7回	49人
コミュニケーション	7回	20人
その他(郊外学習)	1回	14人

### ・参加者内訳

高校3年	—	8人
高校2年	—	4人
高校1年	—	12人
中学3年	—	9人
中学2年	—	8人
中学1年	—	2人

### ・進学先(中学3年9人中9人が進学)

大阪市立中央高等学校	2人
大阪府立茨田高等学校	1人
大阪市立泉尾工業高等学校	1人
好文学園女子高校	1人
大阪府立布施北高等学校	1人
常翔学園高等学校	1人
大阪産業大学附属高等学校	1人
東洋学園高等専修学校	1人

### <高校生生活力開発支援事業>

楽器演奏講座	3回実施	3人
校外学習	1回実施	8人
合計	4回実施	11人

・スタッフ体制	コーディネーター	—	2人
	サポーター	—	9人



## 10 子育てサービス利用者支援事業

子育てに関することの身近な相談窓口として、一時預かり、学童情報、保育園・幼稚園、子育てサロンなどさまざまな役立つ情報を提供します。旭区役所2階にて、月～金曜日に窓口を開設しています。

### 1 相談業務

#### ◎ 相談件数

相談件数			
来庁	電話	出張相談	計
809件	109件	152件	1,070件

#### ◎ 相談内容区分

区分	対応別 延件数	備考
保育・教育	29件	幼児教育・保育無償化
地域子育て支援	17件	子育て相談
認可保育所	739件	入園に係るサポート（書類関係含む）
認定こども園	42件	入園に係るサポート（書類関係含む）
幼稚園	155件	入園に係るサポート（書類関係含む）
地域型保育(保育ママ・小規模保育)	1件	入園に係るサポート（書類関係含む）
認可外保育施設	72件	情報提供等
一時預かり	58件	大阪市一時預かり事業情報提供
病児・病後児保育	18件	旭区・隣接区病児・病後児情報保育施設紹介
地域子育て支援拠点事業	44件	旭区・隣接区子育て施設情報提供
子育てサロン	2件	地域子育てサロン情報提供
その他子育てサークル	0件	
ファミリーサポート	7件	
放課後児童等	6件	
その他	0件	育児給付金、塾代助成
アレルギー児に関する相談	0件	
外国籍住民からの相談	0件	
将来の子育て家庭相談	0件	
その他	0件	
適切行政窓口紹介	4件	支援室、ひとり親サポーター、保健師
専門機関紹介	0件	仕事フィールド
その他	1件	ハローワーク
計	1,195件	

<p>広報活動</p>	<p>○サロン、プラザ、区民センター等での出張相談業務時や健診時、子育て支援施設訪問時に配布</p> <p>○生涯学習センター梅田、区役所内、子ども・子育てプラザ、クレオ子育て館、クレオ東、区内郵便局、産婦人科、商業施設</p> <p>○旭区役所広報あさひ掲載5月、ホームページ掲載4月</p> <p>○旭区社会福祉協議会だより掲載 6月・9月・12月・3月</p> <p>○旭区社会福祉協議会ホームページ掲載</p>
<p>情報提供</p>	<p>○「あさひ子育てガイドの入園・入所ガイド」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旭子育て支援センター 7月・10月・2月</li> <li>・つどいの広場おさんぽ 10月・12月・2月</li> <li>・つどいの広場花しょうぶ 6月・10月・1月</li> <li>・旭区子ども・子育てプラザ 6月・9月・1月</li> </ul> <p>○保健福祉センター分館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児3か月、1歳半健診 毎月2回</li> <li>・離乳食講座</li> <li>・赤ちゃん広場妊婦教室（すくすく）</li> <li>・スプーンクラブ（離乳食講座）毎月1回</li> <li>・プレママカフェ 計3回 毎月1回</li> <li>・すくすく（プレママ講座）年6回</li> </ul> <p>○マタニティカフェゆるり 計10回 毎月1回開催</p> <p>○「あさひあったか広場」 計5回 毎月1回開催</p> <p>○保育所一斉入所窓口</p> <p>「保育制度について」「保育所・園、幼稚園の入所・入園に関して」「幼児教育・保育無償化」「一時預かり事業実施施設」「病児保育施設」「旭区子育てサロン」「隣接区含めた親子で遊べる場所」「児童の居場所」等、子育て情報の提示</p> <p>「親子で遊べる場所」等、旭区在宅サービスセンターにて、子育て情報の掲示と個別相談</p> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東淀川区子育てサービス事業（こさりん）</li> <li>・淀川区子育てサービス事業（スマイル・ステップ）</li> <li>・医療機関（旭こども病院病児保育室、他3か所）</li> </ul> <p>※地域サロンについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止予防のため今年度中止</p> <p>主任児童委員会議1回、サロン定例会3回（開催）</p>

作成資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○しょうぶちゃんマップ8月改訂</li> <li>○あさひ子育てガイドちらし</li> <li>○保育制度ちらし</li> <li>○入園・入所ガイドちらし</li> <li>○あさひ子育てガイドによる情報ガイドちらし</li> <li>○あさひあったか広場ちらし</li> <li>○地域子育てサロンチラシ作成</li> <li>○一時預かり事業実施施設7月改訂</li> <li>○病児保育実施施設8月改訂</li> <li>○認可外保育施設11月改訂</li> <li>○隣接区を含む親子で遊べる施設R2.1月現在</li> <li>○学童の居場所施設R2.1月現在</li> </ul>
------	--

### 3 開催イベント

- 情報フェア 旭区民センター 8月開催
- あさひ子育てガイドの入園・入所ガイド
  - ・旭子育て支援センター 9月・2月
  - ・つどいの広場おさんぽ 9月・2月
  - ・つどいの広場花しょうぶ 9月・2月
  - ・旭区子ども・子育てプラザ 7月・9月・1月
- あさひあったか広場開催 旭区在宅サービスセンター 月1回開催
  - ・親子で遊ぼう！ 4月26日
  - ・ベビーマッサージ 11月20日
  - ・ペープサート 7月26日
  - ・入園・入所ガイド 9月18日・3月18日
  - ・ミュージックケア 11月20日
  - ・英語で遊ぼう！ 10月18日

## 11 あさひ子育て見守り事業

あさひ子育て見守り事業では、キッズコーディネーターが、未就学児家庭への家庭訪問による支援、子育て支援等についての相談や情報提供、見守り活動の後方支援、関係機関との連携・情報収集等を行い、未就学児やその保護者等が地域で孤立することなく安心して生活できるよう、子育てを見守り、支援しました。

延訪問件数	延電話相談 件数	延メール相談 件数	延関係機関等 連絡調整件数	合 計
99件	68件	58件	73件	298件

## 12 旭区子ども・子育てプラザ事業報告

在宅において子育て中のご家庭や地域の子育て活動を支援するため、様々な情報の提供や講座・イベントの開催、乳幼児とその保護者が自由に遊べる場所の提供等を行いました。

### (1) 子育て活動支援事業

#### ア 事業趣旨

次代を担う子どもの健やかな育成と家庭や地域の子育て力を高めるため、在宅で子育て中のご家庭や地域の子育て活動を支援するとともに、乳幼児期の親や子育て支援関係者、就学期の子どもたちが集い交流する機会を提供し、地域福祉活動の推進を図ることを目的としています。

#### イ 主な事業内容

##### (ア) 子育て情報の提供

- ・子育て支援サービス・施設・団体等の情報提供
- ・子育て支援の情報誌の作成

##### (イ) 子育てサークルへの活動支援

- ・活動場所の提供や資料提供・備品の貸し出しなど

##### (ウ) 子育て支援講座や親子イベントの開催

- ・ちょこっと遊ぼう、七夕飾り、身体測定、など
- ・英語で遊ぼう、親子リトミック、親子体操、似顔絵を描いてもらおう（一部実施）の定例講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。

##### (エ) 児童健全育成事業

- ・昨年同様、子どもたちの何か「手伝いたい」という声を形にした「子ども職員」を新たなメンバーを募集して継続実施しました。また、活動内容を充実するため、「子どもボランティア会議」についても継続実施しました。その会議での成果を壁面製作などで活かしました。
- ・プラバン工作、工作教室、けん玉で遊ぼう、寺子屋あさひなどの行事等の開催
- ・自由な遊びの機会の提供など

##### (オ) 地域関連事業（アウトリーチ）

- ・各地域子育てサロンへの訪問による運営支援及びプラザ事業の周知、親子リトミック等の出前講座や出張プラザ（バルーンアートなど）、区内の小学校、子ども食堂における出前講座（プラバン工作）については、事業休止等により中止となりました。

##### (カ) その他

- ・児童青少年団体や地域の公的な団体等の活動場所の提供
- ・森小路保育所との連携・相互交流
- ・区役所内で実施している「子育てガイド」と連携し、当プラザ内で各種の相談や情報提供を行う「子育てガイドデー」「入園・入所ガイド」を実施しました。

## ウ 利用状況

○利用者数（遊びの場の提供、講座、イベント、その他来館者）

乳幼児	小学生	中・高校生	大人	その他来館者	計
94人	385人	7人	163人	937人	1,586人

※ファミリー・サポート・センター事業を除く

○子育てサークル

年間登録サークル数	1サークル
延利用回数	24回（1サークル：月4回まで利用可）
延利用人数	225人（乳幼児の保護者）

○一般利用サークル

年間登録サークル数	1サークル
延利用回数	14回（1サークル：月4回まで利用可）
延利用人数	75人（大人）

○地域関連（子育てサロン、マタニティカフェ、おもちゃ病院、出前講座等）

乳幼児 児童	大人	計
68人	187人	255人

## (2) 大阪市つどいの広場事業

### ア 事業内容

つどいの広場事業は、主に乳幼児(0～3歳)を持つ親とその子どもが気軽に集い、うち解けた雰囲気の中で語り合い、交流を図ることや自由に利用できる場所を提供しています。

利用については、火曜日～土曜日の9時30分～12時まで

ダイニングルーム 12時～14時まで

赤ちゃんルーム（和室） 9時30分～14時30分まで

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、①9時30分～10時30分（30分間消毒作業） ②11時～12時各日2枠各8組予約制で実施しました。

## イ 主な定例事業・行事

- ・お誕生会
- ・ベビーマッサージ（中止）
- ・地域ふれあい子育て教室
- ・似顔絵を描いてもらおう
- ・運動会
- ・プラザでハロウィン
- ・プラザでクリスマス製作
- ・プラザでひなまつり製作
- ・ブックスタート

## ウ つどいの広場利用者数

### ○利用者数

乳 幼 児	保 護 者	計
734人	672人	1,406人

### ○利用者数（ブックスタート）

乳幼児	大 人	計
34人	39人	73人

## (3) ファミリー・サポート・センター事業（支部業務）

### ア 事業内容

大阪市は、「子育てを援助してほしい方」と「子育てを援助できる方」を会員として登録し、会員同士が子育てを支えあう「大阪市ファミリー・サポート・センター事業」を実施しています。会員による子育ての相互援助（子育てを援助してほしい方と子どもの預かりや送迎ができる方をコーディネート）により、地域で子育てを支えあうサポートをしています。円滑に事業実施をするため、「大阪市立男女協同参画センター子育て活動支援館（クレオ大阪子育て館）」に本部を設置し、各区プラザに支部を設置し連携しています。支部業務は区内での会員募集・登録及び相互援助活動の調整にかかる事務、本部・近隣支部・関係機関との連絡調整、区内広報活動、会員研修などを行いました。

- ・ 依頼会員 大阪市内在住で、生後3か月から10歳未満の子どもがいる、子育てを援助してほしい方
- ・ 提供会員 大阪市内在住で、子どもの預かりや送迎ができる方（但し、提供会員養成講座の受講が必要です。）

## イ 利用状況

提供会員数	依頼会員数	両方会員数	総ペア数	援助活動依頼件数	援助活動実施件数
35人	54人	0人	67組	416件	320件

※令和2年4月1日～5月31日の間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、相談事業及びファミリー・サポート・センター事業を除くすべての事業を中止しました。